

東京理科大学、鹿児島大学、(株)電通国際情報サービス

研究代表：西山 裕之 Hiroyuki NISHIYAMA (東京理科大学 理工学部 経営工学科 教授)

日本中央競馬会畜産振興事業の支援により実施中

## 研究の概要

研究実施期間:平成30~32年度(3年間)

## 背景

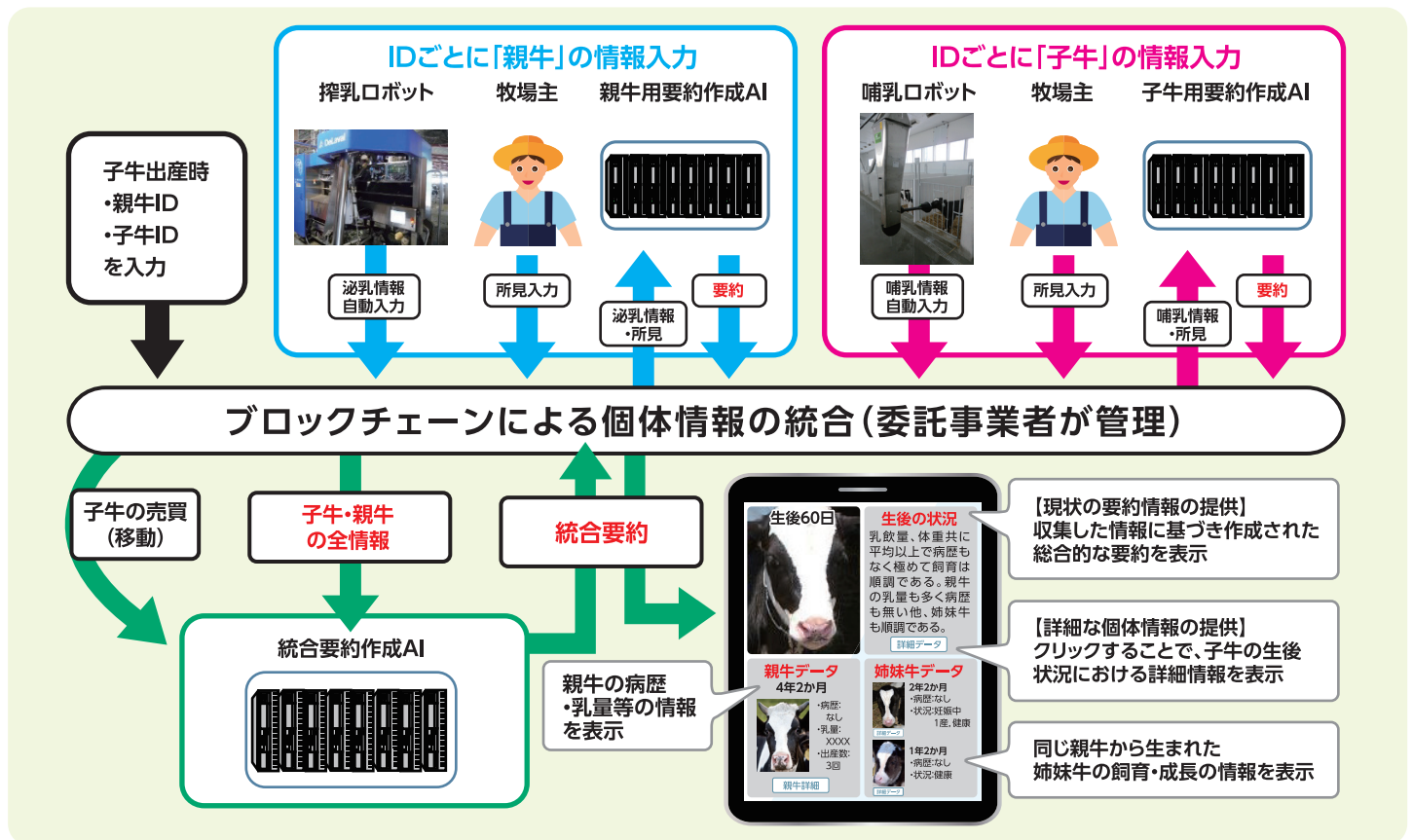
- 酪農家戸数、飼養頭数の減少
- 平均産次度も低下傾向
- 生産性が高く健康な牛の導入が望まれている

## 現状

- 購入時点の発育状況や血統の情報で購入決定
- ・哺乳時期の履歴情報の把握は困難
- ・仮に情報があっても信頼性は担保されず

ユーザーによる情報の共有と相互監視によりデータの改ざんが不可能な分散型ネットワーク「ブロックチェーン」技術を使い、信頼性ある個体情報を提供!

## 運用イメージ



改ざん不可能な乳牛の情報管理

- ・乳牛の履歴の明確化
- ・将来の生産性の予見

生産性の高い乳用牛の流通

